



美術の授業から 一地域をPRする木版画展



**弘前市立津軽中学校
3学年による
多版多色木版です**



場所：HIROSAKI ORANDO ギャラリー(弘前市百石町 47-2)

日時：7月27日(土)13時~17時, 7月28日(日)10時~15時

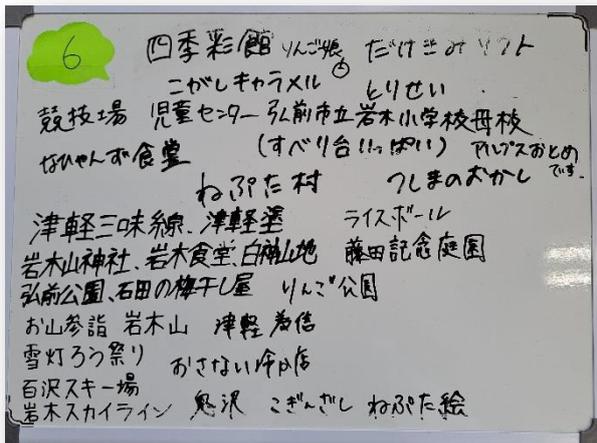
<連絡先> 弘前市大字五代字早稲田 478 0172(82)3004 美術科担当 蒔苗靖子

ごあいさつ

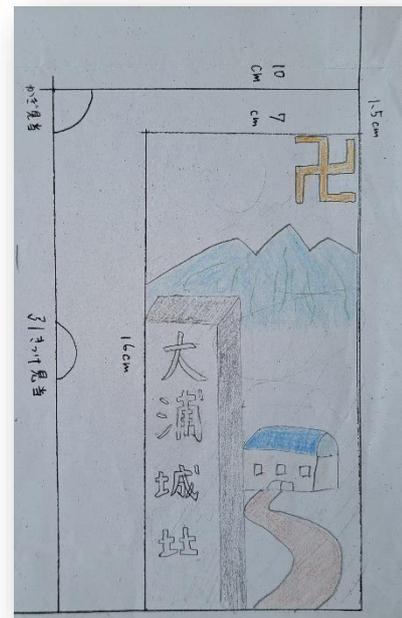
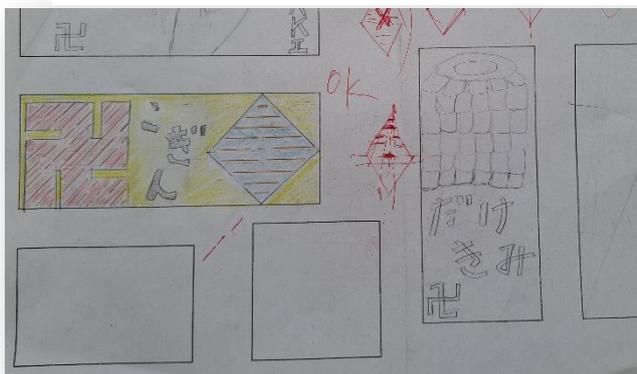
美術の授業から—地域を PR する木版画展— によせて

本展覧会は現在3学年の生徒が美術の授業でつくった版画作品の展覧会です。津軽中学校では総合的な学習の時間に「ふるさと出前講座」が行われており、地域の講師をお招きして伝統工芸や伝統芸能について学習しています（5月～9月）。3年生は昨年、地域探究学習として「職場体験」を行いました（令和5年7月）。このような学習体験や、郷土の歴史、工芸品、岩木地区のお店などから、各自のテーマを決めて制作された多版多色木版による版画が展示されています。また、今回は弘前大学教育学部の佐藤光輝先生、廣瀬孝先生の御協力により、「ニセアカシアの紙」に摺った作品もございます。更にその版画を利用して、ポチ袋や一筆箋などの制作にも挑戦してみました。御来場された方にお好きな作品を差し上げますので、ぜひお手にとって御覧ください。

これまでも中学生の作品が地域に与える力の可能性を探りながら、公共施設に展示する実践を重ねて参りましたが、今回の展示を御覧いただき、これまでと同様に「地域を元気にする造形の力」「地域を笑顔にする造形の力」を感じていただければ幸いです。地域の未来をつくる美術教育に御協力してくださる皆様に心より感謝するとともに、今後も温かく見守り励ましてくださいますようよろしくお願いいたします。弘前市立津軽中学校 美術科担当 蒔苗靖子



左上写真：地域の名産・名品・場所にどんなものがあるか～グループでの話し合い活動



右上写真：実物大の下書き。これを一色ごとに一枚ずつ木版に写し、彫っていく。

左下写真：アイデアスケッチでテーマを絞り込む。